

2013.5.29

神戸P.23.<地域ニュース>

「加古川かつめしの会」初入賞 5位

岡山のB-1支部大会

秋の本大会へ飛躍誓う

岡山県津山市で25、26日に開かれた「当地グルメの祭典「B-1グランプリ」の近畿・中国・四国支部大会で、加古川名物かつめしを出展した「うまいでえー加古川かつめしの会」が5位に入り、初の入賞を果たした。来場者の目に入る形で地元工業製品を使った「まちのPR」に努め、支持を獲得。関係者は「最初の目標」の達成を喜び、さらなる飛躍を狙う。（武藤邦生、井上駿

同会は昨年6月の支部「古川」を印象付けるか」業の梱包材「フチフチ」大会、10月の本大会にも（近藤素未・同会事務局 「加古川の企業の提供で出場したが、上位入賞は 長」を課題に据えた。す」と書き記した。逃した。毎回、売れ行き 今回はフチスの前に、また、よりの多くの人に好調であるものの、得 牛の絵を描いた「看板」 食べてもらうためには素票につなげるのは難し を設けた。素材は、加古 早い提供が求められるく、「いかに来場者に『加 川市に工場がある川上産 が、その「秘密兵器」と



B-1グランプリ支部大会で、コンベヤーの上を流れるかつめし（岡山県津山市）「うまいでえー加古川かつめしの会」提供

看板やコンベヤー 地元企業の協力が奏功

して今回導入したが、オークラ輸送機（加古川市）の協力でできたコンベヤー「コロコンミニ」盛り付けが終わったかつめしをお客さんに手渡す提供台まで、コンベヤー上に流して移動させる。同様の装置を使う団体はほかに見当たらないだけに、「インパクトが強かったようだ」とアピール力も十分だった。

近藤さんら同会のメンバー4人は28日、加古川市役所を訪れ、樽本庄一市長に入賞を報告。同会の橋本忠明代表世話人は「上位に常連が並ぶ中、5位に入ったのは快挙」と喜び、11月に愛知県豊川市で開かれる本大会に向け、「さらにまちを売り込む方法を考え、10位以内の入賞を目指す」と意気込んだ。

樽本市長は「かつめしの『かつ』のうまさ」と、加古川のまちを全国にPRしてほしい」と激励した。



樽本庄一市長に、全国大会への飛躍を誓ったかつめしの会メンバー＝加古川市加古川町北在家